



## 「埼京線の乗務員基地再編について」提案を受けました！

東京支社より「埼京線の乗務員基地再編について」の提案を受けました。提案時の内容説明および特徴点については以下の通りです。

### ■概要

・埼京線の乗務員職場については、安全・安定輸送のさらなるレベルアップを図るとともに、効率的な業務執行体制の実現を目的に埼京運輸区(仮称)を設置する。

### ■実施内容・実施時期

- ・大崎駅構内の建物(旧品川運転区建物)を間内改良し、埼京運輸区(仮称)を設置する。
- ・大宮車掌区、大宮運転区が担当する埼京・川越線の業務の一部を東京支社に移管する。
- ・実施時期は2024年3月。

### ■スケジュール

年度	2022年度		2023年度	
内容	■提案			
		発足準備等		●発足

### ■その他

- ・具体的な実施日等については、決定次第お知らせする。
- ・施策実施に向けた必要な準備を進めていく。
- ・間内改良の進捗に伴い、大崎駅乗務員乗り継ぎ詰所は2階から3階に移転する。
- ・埼京運輸区(仮称)発足以降、大崎駅乗務員乗り継ぎ詰所は埼京運輸区執務エリアと一体で運用していく。

### 【主なやりとり】

組合：これまで埼京線の乗務員基地は北側に偏っていたが、新たに南側に設置することで、輸送障害への対応や効率的な乗務員運用をより推し進めていくということか。

会社：新たに大崎駅近傍に乗務員区所を設置することで、乗務員の手配ができることで、お客さまサービスの更なる向上と異常時への対応力を高めていく。

組合：旧品川運転区の社員数は150名以上で200名は下回るくらいであったと思うが、今回は建て替えではなく間内改修であることから、埼京運輸区(仮称)の人数規模はどの程度か。

会社：間内改修の支障で詰所の移転なども予定しているため、情報提供も含めて通常の提案よりも今回はかなり早い時期に提案をしている。現時点では要員規模は決まっていない。旧品川運転区の建物を使うため、そこに収まる人数規模の職場にはなるのではないか。

組合：旧品川運転区の建物の1階はウォータービジネス等が使用しているが、発足以降支障移転するのか。

会社：1階のウォータービジネスについては支障移転の予定である。

組合：大宮車掌区と大宮運転区の担当する業務が移管するタイミングはいつか。大宮から東京へ社員の異動はあるのか。

会社：埼京運輸区(仮称)発足と同時期の2023年度下期(2024年3月)に移管する。東京支社の社員が埼京運輸区(仮称)に着任するケースもあるが、大宮から埼京運輸区(仮称)への社員の異動もあると想定している。

組合：大崎駅乗務員詰所の2階から3階への移転時期はいつか。乗継詰所と執務エリア一体でスペースの問題はないか。

会社：工事の進捗状況によるが現時点では未定。わかり次第示す。山手線の乗務員が埼京運輸区(仮称)で休憩する。



## 安全に業務遂行ができる職場環境をつくらう！

